



NPO法人
日本アレルギー友の会
〒135-0002
東京都江東区住吉2-6-5
インテグレート村上3F
TEL 03 (3634) 0865
FAX 03 (3634) 0850
http://www.allergy.gr.jp/
mail j-allergy@nifty.com
郵便振替 00130-6-109985
編集発行人 堀内 繁

吸入ステロイド薬と

長時間作用性吸入β2刺激薬の

配合剤に新たな選択肢

ドライパウダー吸入式ぜんそく治療配合剤「シムビコート タービュヘイラー」は、長時間作用性吸入β2刺激薬のホルモテロール(商品名アトック)と吸入ステロイド薬のブデソニド(商品名パルミコート)を配合し、同時に吸入できるようなした合剤(タービュヘイラーにより)です。アストラ・ゼネカ社が開発し、日本ではアステラス製薬から本年1月に新発売されました。

便性により、服薬率・治療の持続の向上が期待できる。(患者のアドヒアランス)



●7 吸入器タービュヘイラーの特徴

●3 ステップで吸入できる。①右へ「クルツ」と回す②左へ「カチツ」と戻す③息を吐き「スーッ」と深く吸い込む。

●薬の残量・終了の目安が表示される。吸入器の小窓(カウンター)におおよその残りの吸入回数が表示。残り約20回で赤いラインが見え、0が表示されたら交換。

●ぜんそくの有病率・病態 ぜんそくの有病率は成人4%、小児6%で、現在も増加傾向にあるといわれています。病態は、肺への空気の通り道である気道が、それを取り囲んでいる筋肉の収縮により狭くなり、閉塞が起こります。さらにぜんそく患者では、気道粘膜がアレルギー炎症を起こして閉塞を起こしやすくなっています。

●本剤の特徴 ①1剤で気道炎症と狭窄を強力に改善し、ぜんそくコントロールが可能。②ブデソニドとホルモテロールの相乗効果により、抗炎症効果が増強される。③気管支拡張効果の発現が早い(吸入1分後)。そして長時間持続する。④粒子径が小さく(2〜3μm)、細気管支へも到達する。⑤1剤で用量調節ができ、症状により増減可能。⑥治療効果と簡

便性により、服薬率・治療の持続の向上が期待できる。(患者のアドヒアランス)

◆目次◇

ぜんそく治療における吸入ステロイド薬の役割	①	(2)
吸入ステロイド外用薬を正しく理解し、上手に使いましょう	②	(4)
小児ぜんそく体験記「息子のぜんそくで行き詰まった時」	(6)	(7)
顧問の先生からのメッセージ	⑩	(8)

少ない薬剤とされています。最近10年間に於けるぜんそく死の低下に大きく貢献しました。早期に吸入ステロイド薬での治療を始めるほど抗炎症効果が期待でき、継続的使用により、薬を使わなくてすむ状態になります。自己判断で使用を中止してはいけません。中止しても服薬を忘れても、すぐ発作が起きるわけではなく、次第に気付かないうちに悪化し、症状が現れるのはある限界を過ぎてからです。使用中はあくまで専門医の指導の下で行ってください。主治医の指示があるまで、症状がなくても継続して使用しましょう。

吸入薬の使用方法的に治療効果を上げる吸入ステロイド薬は現在、本剤を含め薬剤・吸入器具が異なる7種類の薬剤があります。各々の薬剤ごとに使用方法が異なります。使用する薬剤が変更された時には、面倒がらず実地指導を受けて正しい方法で使用してください。治療効果が上がります。ぜんそくを悪化させないためにも、良好にコントロールされた状態の達成・維持が重要です。それには吸入ステロイド薬を早くから、きちんと、継続して使うことが大事です。

まとめ「シムビコート タービュヘイラー」は、粒子が中枢から末梢の気道まで効率よく到達し沈着しやすい大きさのドライパウダー吸入式ぜんそく治療配合剤です。1剤でぜんそくのコントロールが可能であり、気管支拡張効果の発現が早く長時間作用すること、加えて、1つの吸入器で用量調節が可能であることにより、簡単・便利になって、治療効果も実感しやすいことから、患者のアドヒアランス向上が期待でき、治療の選択肢が広がります。ぜんそくが良好にコントロールされた状態の達成と維持を多くの患者で実現できる可能性が示唆されています。副作用の主なものはしわがれ声、筋力いれんなどです。現時点では小児に対しての使用経験がないので、成人に対して使用されます。使用を希望する場合は主治医(専門医)にご相談ください。

ぜんそく治療はこれまでより、さらに進化してきていますが、まだまだ苦しんでいる方がたくさんいらっしゃいます。関係各位におかれましては引き続き新たな治療薬や治療法に向けてご尽力をお願い申し上げます。なお、当会常任顧問の坂本芳雄先生より、メッセージを頂戴しました。(文責 武川)

※注 アドヒアランス:患者が疾患の病態や治療方針を理解して、薬の服用量・回数などを医師の指示を守って使用すること。

坂本芳雄先生から シムビコートは、アドヒアと同じようにステロイド薬と交感神経刺激薬とが一緒の容器に入っている薬で、アレルギー作用と気管支拡張作用の2つの効果を1つで出そうとするものです。特徴としては気管支拡張効果がサルタノールやメプチンなどと同じく即効性で、かつセレベントと同じように長時間持続すること、1剤形だけで吸入回数を増減できることです。吸入器具は従来のパルミコートと同じで、実際に吸っても吸った気がしないというの、良い意味でも悪い意味でももう一つの特徴です。